

陸前高田市立博物館の被災した押し葉標本レスキュー活動

船戸 智

A Rescue of Rikuzentakata City Museum's Botanical Specimens Which
Were Engulfed by the Tsunami Waves

Satoshi FUNATO

1. はじめに

東日本大震災では、東北地方をはじめ多くの地域が甚大な被害を受けた。岩手県陸前高田市立博物館もこの被害にあい、収蔵庫にあった押し葉標本のほとんどが海水につかった。

当館では、この陸前高田市立博物館が収蔵する押し葉標本の一部に安定化処理（脱塩、洗浄、乾燥）を施したので報告する。

2. レスキュー活動の概要

全国 40 の博物館がこの処理に当たったが、手順・安定化処理の方法については前例がなく、手探り状態での作業であった。当館では震災が起きた 3 ヶ月後に、被災した標本のうち 100 シートの標本を引き受け、安定化処理にあたった。

引き受けた標本の多くは、津波による海水のため、ひどく砂泥で汚れていた。また、現地で標本を回収するまでに時間がかかったため、いくつかの標本には、引き受けた段階ですでにカビが発生しているものもあった（図 1）。そこでこの作業では、塩分・カビ・砂泥による汚れの除去を中心に行った。作業の工程は、次の通りである。

- ① 脱塩のため、流水に 30 分程つける。
- ② 別の容器に移し、止水中で汚れ・カビを落とす。
- ③ 新聞紙の上ですくい上げる。
- ④ 水中で変形した、葉や茎を整形する。
- ⑤ 自然乾燥させる。

3. 安定化処理の具体

ここでは参考のため、作業する上で苦労した点に焦点を当て、報告することにする。

(1) 時間との戦い

標本を受け入れたのは 6 月。気温も徐々に高くなる時期であり、常温での標本保存はさらにカビの増殖を招く

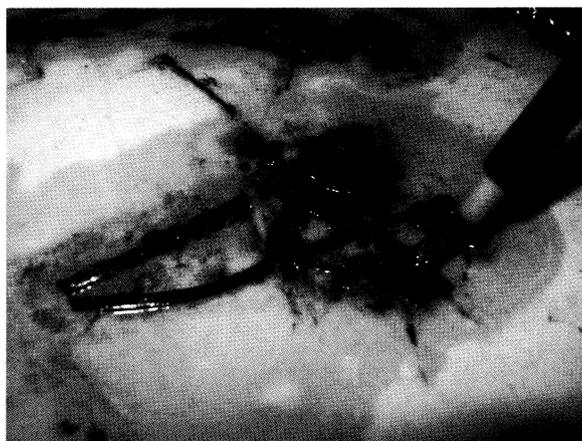


図 1 標本に発生したカビ

ことになる。試行的に 1 シートの標本を安定化処理した結果、終了まで 2 時間近くを要した。そこでまず、残りすべての標本を -30°C まで下げることができる冷凍庫に入れ、作業の準備に当たった。また作業開始 3 時間ほど前には、作業ができそうな分だけを自然解凍し、修復作業に備えることにした。

(2) ボランティアの確保

今回行う安定化処理は、誰も経験したことのない作業である。限られた時間の中、標本に関して専門的な知識をもった方に手伝っていただくことが早急に必要であったため、個人的に知り合いである学芸員に声をかけ、協力を仰ぐことにした（図 2）。2 名の方にご快諾いただき、短時間で能率のよい作業を行うことができるようになった。日頃からの、学芸員同士のネットワークづくりの大切さを感じた。

(3) 安定化処理

押し葉標本は本来、水分を取り除いたあと、乾燥させて保存する。この陸前高田市立博物館の収蔵標本も、同様に保存されていた。ところが、今回の震災で海水をかぶり、やむなく水に入れ安定化処理をすることになった。



図2 ボランティアで共同作業に当たる学芸員



図3 水中で思わぬ形になる葉



図4 ラミネータフィルムですくい上げた葉



図5 標本が散乱しないように網戸をかぶせた

水に入れて初めて分かったことであるが、葉肉が薄いものや枝が細いもの等は、水中で思わぬ形になったり、もろくなったりする(図3)。そのような標本を水中からすくい上げるのには、非常に苦労した。試行錯誤の末、亚克力板やラミネータフィルムを用いるとすくい上げやすく、新聞紙に移動させることが容易であることを発見した(図4)。これにより、形を崩さずうまく整形することができた。

また、標本の中には茎等が細いものがあり、水中で散乱してしまい回収に手間どることがあった。このとき参考にしたのが、インターネット上にあった数少ない安定化処理の方法を紹介したページであった。それらのページからヒントを得、手作りの道具で作業に当たった。図5は標本が散乱しないよう、パーベキューの網の上に標本を載せ、その上から網戸をかぶせて洗浄している様子である。予算をかけず、効果の高い方法で作業を行うことができた。

このような情報は共有し、誰でもいつでも参考にできるようにしておくべきであると感じている。

4. おわりに

およそ半年かけて、依頼を受けたすべての標本の安定化処理を終えることができ、依頼元の岩手県立博物館へ標本を送付した。

今、文化財を預かる学芸員の私たちに求められていること。それは、有事に備え、今の私たちに何が足りず、何をすべきかを考えることである。有形無形に関わらず、地域の貴重な文化財を確実に将来に継承していくためには、早急な対応が必要であると考え。

引用文献

- 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会事務局(2012). 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成23年度活動報告書, pp.245-247
- 鈴木まほろ(2012). 陸前高田市立博物館所蔵 押し葉標本のレスキューについて, <<http://www.geocities.jp/curaiwt/rescue/botany.htm>>, (2012年6月12日).
- 小川誠(2012). 東日本大震災で被災した標本の修復協力について<<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/logawa/database/rikuzentakata/index.html>>, (2012年6月12日).